

第 157 回日本獣医学会学術集会 日本比較薬理学毒性学会拡大評議委員会議事録

平成 26 年 9 月 10 日(水曜)午後 4 時～5 時 北海道大学 第 11 会場(E308)

出席者：(北大) 伊藤、乙黒、山口、中山、池中、水川、石塚、(帯広畜大) 久保田、室井、佐藤、(北里大) 中村、岡田、鎌田、(岩手大) 古濱、佐藤、(東京大) 尾崎、堀、村田、(東京農工大) 下田、佐々木、(日獣医大) 金田、田島、(麻布大) 浅井、白井、代田、(日本大) 斉藤、(岐阜大) 海野、松山、(大阪府立大) 竹内、中嶋、東、松尾、西村、中川、(鳥取大) 太田、高橋、(山口大) 佐藤、大濱、(宮崎大) 池田、園田、(鹿児島大) 宮本、白石 [計 43 名]

(議事内容)

1： 全国協議会からの報告

伊藤全国協議会会長から概要について説明がなされた。ポイントとしては、

- ① 大学の入学定員の厳守、②CBT 共用試験機構の設立、③CBT、OSCE の準備状況、④第三者評価について(費用、評価周期、評価実施母体など)などについての報告がなされた。

2： 国公立大学獣医学協議会の報告

尾崎国公立協議会会長から概要について説明がなされた。ポイントとしては、

- ① 第 2 次協力者会議の「議論のまとめ」の内容についての説明。②コアカリ委員会の刷新、③CBT、OSCE の準備状況などについて報告がなされた。

3： 私立大学獣医学協議会の報告

なし

4： 獣医学会総会の報告

公益社団法人化による定款の改定や経理体制の変更などについて報告された。

5： コアカリ準拠『臨床薬理学』作成進捗状況について

2015 年 10 月刊行を目指して現在編集作業中

6： コアカリ対応に向けた第 2 回 薬理学・毒性学実習 実施調査

薬理学実習と毒性学実習についての各大学での実施状況が説明された。

現コアカリ到達目標全てを実習として実施することは不可能であることが確認された。コアカリ項目の改定やビデオ実習での対応など今後さらに検討を要することが確認された。

7： 会計報告(H25 年度分、H26 年度前期分(2 月～7 月))

上記会計報告が承認された。

8： 人事異動、新任教員紹介など

帯広畜産大学：久保田 彰(准教授) 動物・食品検査診断センター 毒性解析分野

山口大学：臼井達哉（助教） 毒性学分野

北海道大学：水川葉月（助教） 環境獣医科学講座

北里大学：中村和市（教授） 毒性学

9： その他

次回開催：第 158 回日本獣医学会学術集会（北里大学）にて開催予定